

# 2026年度 IWE/T/S 国際溶接技術者 特認コース募集要項

## 1. 応募方法(申請に必要な書類の準備/提出)

応募者は以下の<応募申請書類>を JWES-HP よりダウンロードして準備し、J-ANB 事務局へ上記期間内に提出してください。なお、応募者が少なく、試験実施が困難な場合は、次来年度以降に延期される可能性があることを予めご承知おきください。

**★応募受付期間:2026年4月1日(水)～7月31日(金)事務局必着**

<お問い合わせ先>(一社)日本溶接協会 事業部 J-ANB 事務局(立花)

E-mail:[tomoyuki tachibana@jwes.or.jp](mailto:tomoyuki.tachibana@jwes.or.jp)

TEL: 03-5823-6325 FAX: 03-5823-5211

<応募申請書類>

①「受験申請書表紙」,裏面に「卒業証書(学位記)の写し」または「卒業証明書」を添付の事。

②「学歴記入表」

③「職務経歴証明書」(第三者証明が必要)

IWE:直近の6年間で、4年以上IWE相当の業務に従事していたことを証明する文書。

IWT:直近の6年間で、4年以上IWT相当の業務に従事していたことを証明する文書。

IWS:工業高校卒の場合、直近6年間で、3年以上IWS相当の業務に従事したことの証明文書。

工業高校以外の高校・学校卒業の場合、通算6年以上IWS相当の業務に従事したことの証明文書。

④「有効な(失効していない)WES 認証者適格性証明書の写し」。

※更新手続中の方は、登録料納入票写しで可。

⑤各モジュールのシラバス項目毎の「スコアリングポイント表」

※詳細は、[\[IWE/T/S 特認コース 2026年度受験案内\]](#)を参照下さい。

1)大学等で履修した内容、溶接学会及び日本溶接協会等で受講した講習会やセミナーなどについても、「スコアリングポイント表」で自己申告下さい。

2)ポイントの取得証明文書

(a)大学等で単位取得した科目を証明する成績証明書または単位取得証明書。

(b)溶接学会及び日本溶接協会等で受講した講習会・セミナーの受講証明書(コピー)等。

(c)有効なWES8103の資格証(コピー)。

## 2. J-ANB による詳細書類審査

応募者から提出された関係書類の妥当性、客観性などについて詳細に審査し、文書審査通過者には「技術面接」と「IIW 共通 DB 試験」を受けて頂きます。

## 3. 技術面接(テクニカルインタビュー)と共通 DB 試験:7月～8月中旬

### 3-1.「技術面接」

・受験者一人当たりの最小面接時間は、IWEは120分、IWTは90分、IWSは60分とします。

・面接目的は、IWE/IWT/IWSの受験者が、各資格レベルで期待されるモジュール1～4のシラバス項目毎の知識と論理的応用力を有するか否か、等の確認です。

・技術面接の結果、十分(合格レベル)と判断された受験者は、**「プロジェクトワーク」をスキップして、最終筆記試験に進んで頂きます。**

### 3-2.「IIW 共通 DB 試験」

・受験者は上記面接の前又は後に、IIW 共通 DB 試験を(約2時間の選択式筆記試験)を受けて頂きます。なお「IIW 共通 DB 試験」は、将来的に各国の試験レベルの整合性を担保する為の試験問題ですが、日本ではIWE/IWT/IWSの資格認証の可否判断には用いず、参考データとしてIIWに報告する目的のみで実施中です。

## 4. プロジェクトワーク(Project work)

・技術面接の結果、不十分(合格ではない)と判断された受験者は、「プロジェクトワーク」を追加受講して頂きます。「プロジェクトワーク」とは、知識の応用力、問題解決能力を調べるため、指定されたテーマに対して各自が予習し、数名のチーム編成によるケーススタディ(集合研修)を行います。

・予習報告書、最終報告書及びケーススタディでの発表内容が審査・評価されます。なお、テーマについては必ずしも応募者の経験、現在の職務内容と一致するとは限りません。

① 予習報告書の作成:**予習期間:2026年9月18日～10月16日の約4週間**

J-ANBより配布されたプロジェクトワーク案内に基づいて予習を行い、その結果を予習報告書としてケーススタディの前にJ-ANBへ提出します。

② ケーススタディ(集合研修)

・日程: 2026年10月22日(木), 23日(金), 24日(土)の3日間。

・場所: 大阪大学接合科学研究所(茨木市), 最終日に成果発表会を行う。

③ 最終報告書の提出

ケーススタディ終了後, 2週間以内に最終報告書を J-ANB 事務局へ提出して下さい。

## 5. 最終試験

最終試験は, モジュール1~4の4分野について, 筆記試験が行われます。合否はモジュール毎に判定されます。なお, IWE は筆記試験に加えて口述試験も行います。但し, 4モジュール全ての筆記試験の得点率が75%を超えると口述試験が免除されますが, 75%の得点率に満たないモジュールがある場合, そのモジュールを対象とした口述試験を実施します。

一方, IWT/IWS 受験者では, 筆記試験の得点率が60%未満でボーダライン上にある場合には, そのモジュールを対象とした口述試験を実施します。

① 最終筆記試験

・日程: 2026年11月28日(土)

・場所: 国立大学法人 大阪大学接合科学研究所(応募状況によって, 東京会場も増設)

・試験時間:

IWE:モジュール当たり2時間, 計8時間(AM 2モジュール, PM 2モジュール)

IWT:モジュールあたり1.5時間, 計6時間(AM 2モジュール, PM 2モジュール)

IWS:モジュールあたり1時間, 計4時間(AMのみ4モジュール)

② 口述試験

・日程: 2026年12月12日(土)

・場所: 国立大学法人 大阪大学接合科学研究所

口述試験は筆記試験の結果(得点)に応じて該当者が決定されます。

筆記試験終了後, 1週間以内に該当者に通知します。

## 6. 合否通知, 登録及び履修証明書(ディプロマ)発行

合否通知: 12月末

登録期間: 2027年1月中旬迄

履修証明書(ディプロマ)発行予定: 2027年2月1日付け

## 7. 受験料

① 申請時納入: 書類審査, 技術面接及び最終筆記試験料の計: 82,500円(消費税10%込み)

② プロジェクトワーク(4項)を追加受講する場合の加算料金: 75,900円(消費税10%込み)

③ 最終筆記試験結果により, 最終口述試験を受験する場合, 口述試験料が追加徴収されます。  
27,500円(消費税10%込み)

④ 合格後に納入: IIW 登録費用及び証明書(ディプロマ), 及びプラスチックカード発行料  
24,640円(消費税10%込み)

<プロジェクトワーク②無しの場合の総額>

総額 1: 107,140円 (①+④: 口述試験なし, または免除された場合)

総額 2: 134,640円 (①+③+④: 口述試験を受験した場合)

## 8. 再受験※

※当該年度の最終試験の特定モジュールが不合格であった場合, IIW-IAB の認証規則に従い6年以内の再受験が認められます。J-ANB では, 次年度の最終筆記試験(当該モジュール)での再受験を推奨しています。詳細は, J-ANB 事務局へお問合せ下さい。

## 9. 提訴\*\*

\*\*認証の決定に異議を申し立てる者は, 決定通知の日より60日以内に, J-ANB 資格認証委員会に書類を付して提訴することが出来ます。詳細は, J-ANB 事務局へお問合せ下さい。